

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



## WEEKLY

# なごや ちくさ

題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ  
承認 1982年 8月24日  
例会日 火曜日 12:30  
例会場 愛知厚生年金会館  
事務局 ☎763-5110  
会長 黒須一夫  
幹事 大口弘和  
会報委員長 秋山茂則

No. 19

ロータリーを楽しもう!  
ENJOY ROTARY!

1989~90年度 RI会長 ヒュー M.アーチャー

第361回例会 平成元年11月21日(火) 晴

◇ “我等の生業”

◇ 生席報告

会員 61(60)名 出席 43名  
出席率 71.67%

前回 11月13日 (修正出席率) 98.33%

◇ ビジター紹介 4名

◇ お誕生日祝福

石田(紘)夫人(11/15)、松居君(11/25)  
林夫人(12/4)

◇ ニコボックス

名古屋和合RC 片岡 正明君 ご町内の皆さん 今日はお邪魔します。

石田 紘君 ガバナー公式訪問日、早トチリをして1日まちがえました。ゴメンナサイ!! 夫人誕生日祝い。

黒野 貞夫君 11月14日(火)第21回日展会員賞授賞式に芸術院会館へ行ってまいりました。明年東海展でおめにかかります。

安藤 鍬之助君 本日ゲストスピーカー谷口氏ご紹介。

黒須 一夫君、大口 弘和君 先週盛田ガバナー公式訪問を東ロータリーの例会にあわせて例会日をかえて参加して頂いたことを感謝いたします。

鈴木 理之君 先回の麻雀会、皆さんにご迷惑かけました。

木全 昭二君 久しぶりにゴルフ会で優勝させていただきました。

渡辺 辰夫君 所用の為早退させていただきます。

大谷 和雄君 本日早退させていただきます。結婚記念日祝い。

松居 敬二君 本日早退させていただきます。誕生日祝い。

林 淳三君 夫人誕生日祝い。

◇ 大口幹事報告

1. 次回例会は、ファイアサイドミーティングのため午後6時30分より松風閣にて開催いたします。又、例会前6時より理事役員会を開催いたしますので、理事役員の方はご出席下さい。

2. 本日お届りしました国際大会の案内の中で、「プログラムの概要」の期日が5月になっておりますが、6月と訂正のお知らせがありましたのでお間違えのないようお願い申し上げます。

◇ 黒須会長挨拶

“欧米人とのつきあい方”

— 握手とレディ・ファスト —

マナーはそれぞれの国の文化、習慣に深いかわりをもっています。日本人の生活や考え方が必ずしも、彼等のマナーに一致しない場合があります。日本ではそれで十分であります。海外に出ると通用しない場合があります。

そこで、欧米とその特に異った例についてお話しします。

1) 手には手を目には目を

挨拶する場合はおじぎを深々としてはなりません。卑屈にみられます。深々とおじぎをするのは女王陛下の前だけだそうです。

握手は知らないもの同士がはじめて体をじかに触れあう行為であります。

この時に大切なのは手をしっかり握ることです。一般に、欧米人は握手は強くにぎることが多いです。このためわれわれは、先に全力をふりしぼって積極的に握らないと彼等の大きな手にいためられ、手が変になってしまうことが多いのであります。

一方、日本と大いに違うことは、握手をす

るときはまず、相手の目をしっかりと見ることです。

ここで相手から視線をそらしたりすることは、気が弱いとか、相手を信用していないといわれており、相手に不快感を与え、失礼になるといわれています。

このような行為は日本人同士にとっては非常に失礼な行為ですが、これが欧米人のマナーでありますのでいたしかたありません。

## 2) レディ・ファースト

彼等のすべてがレディ・ファーストです。欧米では男が荷物を持って悪戦苦闘し、女房が涼しい顔をして歩いております。ただ、女性1人の場合には大きなトランクを太い腕で軽々とさげております。私共は外人の友達に離婚寸前の夫婦にみえるそうです。それも国の違いだろうと思います。

要はレディファーストは日本人にとってはつけやきばなのですから、間違ったらあわてずに、当然のように大らかな態度で体を真直ぐにのぼして応待し、卑屈になが笑いなどは絶対にしないことです。落ち着いた態度は、もしかしたら、アラビアの王族と思われるかもしれせん。

## ◇ 講演

“関ヶ原合戦”

関ヶ原宝蔵寺住職

谷口 玉泉 氏 (紹介 安藤君)



勝敗の鍵(関ヶ原合戦に学ぶ)

私は40才でゴルフを始め、3年間百が切れなかった。その後プロについて1年でシングルになり2年を経てハンディ4となった。これは運と力と心であって、関ヶ原の合戦で劣勢な家康が勝利を収めたのも運と力と心であったと考えている。誰が見ても不利な布陣の戦線で敢て袋のネズミを覚悟で進んだ家康が何故勝ったか。その第一は人の和であった。西軍(三成)に小早川の裏切をはじめ、非協力的な大名が多く出た。そして三成は兵力差1万の力の過信があった。第三に情報戦の敗北が挙げられる。家康は50日間に182通の手紙を敵、味方の関係なく各大名に送り、是非味方について呉れと頼んだ。一方三成は心の通ずると思った大名へ5通しか手紙を出してお

らず、その内容は他大名の中傷が多く、家康の手紙に比較され信望を失った。三成はもともと文官であったが、家康は千軍万馬の武将であり自ら戦争技術の差があった。当時は百年近くにわたった戦国の時代であり、多くの民衆は心から平和を求めている。三成はそんな民衆の心は知らず豊臣家のことばかり考えていた。大谷刑部が「豊臣家のためだといって、貴殿のやっていることは逆に豊臣家を滅ぼすことになる。天下万民のことを考え家康と話し合っては」との進言にも耳を貸さなかった。家康は9月1日に江戸を発つとき家臣より「行く手は塞がれている。出発を一日延ばしたら」との進言に「塞がれているから私が拓くのだ、一日出発が遅れることは民衆の幸が一日遅れることになる」と強行した。背後に厭離穢土欣求浄土の家康の座右の銘があった。人の一生には苦難が伴うのは当然であり、それを厭い避けることは敗北である。人生の重荷、苦しみを欣び求めてこそ極楽世界に生きることができるとの意味です。万民を思い苦難を伴うと予想された9月1日の出発を敢て行った心が関ヶ原合戦の勝利につながったと私は考えております。

(文責 秋山)

## —— 第59回ゴルフ会成績 ——

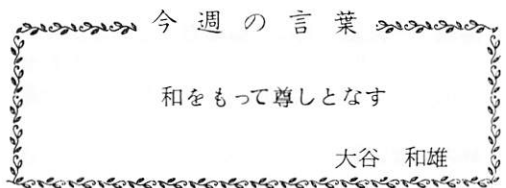
(ベルグラビアC.C. 11/16(木))

RANK	NAME	OUT	IN	G	Hcp	NET
優勝	木全 昭二	44	51	95	21	74
準優勝	中山 信夫	47	43	90	13	77
3位	杉浦比左夫	48	43	91	11	80
B B	小坂井盛雄	55	50	105	19	86

## —— 第37回夫人ゴルフ会成績 ——

RANK	NAME	OUT	IN	G	Hcp	NET
優勝	竹内 逸子	70	56	126	29	97
B B	石田喜代子	74	70	144	30	114

(参加者 9名)



## ◇ 例会変更のお知らせ

名古屋中R C 12/11(月) 夫妻忘年会の為、  
PM 6:00 より

## ◇ 次回例会(11月28日)

ファイアサイドミーティング  
松楓閣にて PM 6:30 より

## ◇ 次々回例会(12月5日)

講演 “中国での取材から”

中日新聞文化部

加藤 龍明 氏 (紹介 黒野君)